

第4回議会運営活性化推進協議会 協議概要

- 1 日 時 令和元年12月13日(金)
午前10時00分から午前11時06分まで
- 2 会 場 議事堂3階 第1委員会室
- 3 出席者 (委員) 岩井委員長、段木副委員長、
石川委員、阿部委員、植草委員、秋葉委員、小川委員、
麻生委員、白鳥委員、三瓶委員、青山議員、森山委員、
近藤委員、中村委員、福永委員
(下線は代理出席)
(オブザーバー) 松井議員
(事務局) 鎌田事務局長 他10人

4 傍聴者 なし

5 協議事項及び協議結果

※今回も前回に引き続き、文書共有システムの試行運用を以下のとおり実施した。

- ・紙資料を基本とし、文書共有システムを併用した。
- ・委員個人所有のタブレット及びスマートフォン、事務局より貸与したタブレットにより、会議資料を閲覧しながら協議を進めた。

(1) 議会のICT化について

<協議内容>

来年1月から試行運用を開始するグループウェアの利用基準及びタブレット端末の貸出方法の詳細等を事務局より説明し、意見聴取を行った。

併せて、来年1月に開催予定のグループウェア研修について、事務局より説明した。

<主な意見>

- ・試行期間中に本会議、委員会でテスト的に使えると早く慣れると思うので検討願いたい。

<協議結果>

グループウェアの利用基準については、基準案を基に試行運用をしていくなかで、適宜修正していくことので了承された。また、事務局よりタブレット端末の貸出方法等及びグループウェア研修について、会派内への周知を依頼した。

(2) 災害対応について

<協議内容>

前回の会議において協議事項として追加された、「災害対応」の今後の協議・検討スケジュールが委員長より提示された。

その後、前回の会議で整理した「災害対応における議会としての課題」に

対する考え方・対応方針について、事務局案を提示し、その内容について協議を行った。

ア 災害対策会議の設置の判断や会議の開催方法など、災害対策会議のあり方に関すること

<主な意見>

- ・まずは、災害対策会議の開催を大前提とすることは了解したが、災害により正副議長や各会派幹事長が集まらない場合には、メールやグループウェアなどの活用による対応をお願いしたい。
- ・議長が変わった場合には、災害時に適切に対応できるよう、大規模災害対応指針を確実に引き継いでもらいたい。

<協議結果>

次回会議において、今回の意見を踏まえた正副委員長案を提示し、再度協議することとなった。

イ LINEやグループウェアなどを活用した情報伝達・情報共有に関すること

<主な意見>

- ・台風15号の時のように、停電により通信環境が整わない場合、LINEやグループウェアが使用できない可能性もあるため、そのような場合の次の連絡手段の確保（無線機を正副議長や幹事長へ配付するなど）も検討すべきではないか。

<協議結果>

次回会議において、今回の意見を踏まえた正副委員長案を提示し、再度協議することとなった。

ウ 災害時における議会日程の変更や質疑・質問を急遽取り下げた場合の取扱い、委員会視察などに関する議会運営に関すること

<主な意見>

- ・委員会視察の実施・中止の検討については、災害の事前・事後だけでなく、視察中に発災した場合についても検討してほしい。
- ・委員会視察については、今回の台風と大雨の際にどう対応したのか、時系列で整理した資料を基に振り返った上で、今後の取扱いについて検討すべきである。
- ・委員会視察の実施の可否については、例えば、災害対策会議が設置されている間は、視察を実施しないという考え方もあり、自動的に判断できる基準を設けるべきである。

<協議結果>

次回会議においても、引き続き協議することとなった。

(3) 会期の早期決定について

<協議内容>

会期全体の日程の早期決定について、正副委員長案に基づき事務局から説明し、協議を行った。

<主な意見>

- ・会期全体の日程を早期に示すことが、市民の利益につながるのであれば、正副委員長案を了承する。
- ・会期全体の日程を早期に示すことに賛同するが、日程を早期に示すことで、かえって休会日に予定を入れてしまい、急遽臨時に開催が必要となった会議の開催が危ぶまれることを懸念する。

<協議結果>

正副委員長案のとおり決定する。また、当該日程の最終決定は、従来どおり定例会直前に開催する議会運営委員会において決定されることが確認され、12月16日に開催される議会運営委員会に第1回定例会の会期全体の日程を公表することとなった。

(4) その他について

特になし

(5) 次回の開催日程について

令和2年1月15日(水)午前10時からの予算意見交換会終了後に開催することとした。